



学校だより

令和5年度3月発行
学校法人松蔭学園
松蔭大学附属
松蔭高等学校
校長 川下 進

HP : <http://www.shoin.ed.jp/> Blog : <http://www.shoin.ed.jp/category/information/>

令和6年3月5日に卒業式が行われました

寒暖の激しい今日この頃、お別れもあれば出会いもある春です。

3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

別れは出会いの始まりです。新しい環境がみなさんを待っています。不安もあると思いますが、是非とも期待に胸を膨らませ新生活をスタートさせて下さい。

母校はいつでもみなさんを応援しています。



☆3年生の各賞の受賞者☆

卒業式において、様々な方面の活動で、顕著な功績を残した人が表彰されます。



(敬称省略)

学校長賞

3年1組 藏谷 野乃香

努力賞

3年1組 粕谷 一華

3年2組 東 芙美華

3年2組 宮崎 なつみ

東京都知事賞

3年1組 藏谷 野乃香

東京都私学財団奨励賞

3年2組 東 芙美華

日本私立中学高等学校連合会賞

3年2組 宮崎 なつみ

東京都高等学校体育連盟体育優良賞

3年2組 原口 優未

3年2組 岩越 康生

東京都高等学校文化連盟文化活動優良賞

3年1組 藏谷 野乃香

3年1組 山崎 悠亜

東京私立中学高等学校協会第八支部体育優良賞

3年1組 杉澤 和樹

3年2組 神野 琴音

東京都吹奏楽連盟賞

3年2組 奥山 あんず

東京都高等学校野球連盟賞

3年1組

千葉 晴人

東京都私立中学高等学校協会第八支部生徒委員表彰

3年1組

藤枝 優太

3年2組

神野 琴音

送 辞

教室の窓から見える桜の蕾が、一日一日とふくらみを増し、春の訪れを告げています。

本日、この松蔭高等学校を卒業し、新しい世界へはばたいていかれる三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

三年生のみなさんにとって松蔭高等学校で過ごした三年間はどのような日々でしたか。新型コロナによる制限は緩和されはしましたが、不自由なことも多い日々だったことと思います。でも、そのような状況でも、私たちにとって先輩方と過ごした日々は、とてもとても大切な時間でした。

先輩方に初めてお会いしたのはマスクを着けて距離を保って行われた対面式でした。新しい環境にたくさんの不安を抱えていた私たちに、やさしく声をかけてくださり、安心しました。この時から先輩方との思い出の日々が始まりました。

初めての学校行事は、体育祭が中止になり、代わりに行われたスポーツ大会です。紅白に分かれて円陣を組んだとき、「がんばろうね」と声をかけてくださいました。大縄跳びでは先輩の大きなかけ声で、学年をこえて、チームが一致団結して盛り上がり、とても楽しかったです。

探究学習発表会でも、先輩方は私たちの発表を真剣に聞いてくださいました。発表中に相槌をうってくれたり、アドバイスや質問をしていただいたおかげで、自信をもって発表できました。また、三年生の発表は、テーマ、内容、資料など、いろいろな工夫があって、勉強になりました。今年、私たちが取り組んでいくときに、とてもよいお手本になっています。

文化祭でも、準備から片づけまで先輩方の行動力に圧倒されました。三年生の企画「スナックヘブン」は、細かい部分まで工夫された装飾で、その完成度の高さに驚きました。

台風による延期で9月に開催された体育祭。競技や応援で、先輩と一緒に喜んで喜んだこと、本当にうれしかったです。最後のダンス、グラウンドで紫のTシャツを着て踊る先輩方の姿は、最高にかっこ良かったです。

また、私は部活動で先輩方にたくさん助けていただきました。練習や試合でミスをしたとき、わからないことがあったとき、丁寧に教えてくれました。そして、私ができるようになるまで、一緒に練習してくれました。パワフルなプレー、そして、常に周りを見て行動する先輩方は、私の憧れです。引退後も私たちのために練習に参加して、私たちの練習を盛り上げ、アドバイスをくださいました。二年生だ

けではできない練習も、先輩のおかげでできました。本当にありがとうございました。先輩方に、納得できるかたちで恩返しすることが、まだできていません。よい結果を報告できるよう頑張ります。

今日までの二年間、先輩方の背中を追いかけてきました。これからは、私たちが後輩のお手本となれるよう努力していきます。明日から、それぞれの道を歩む先輩方。そこには新たな出会いや喜び、それ以上に不安や苦労があるかもしれません。そんなときは松蔭高等学校での日々を思い出してください。先生方や友達、そして微力ながら私たち後輩も、先輩方の応援団です。

体育祭のダンスの曲は、「We can make it」でした。

「この場所に立っていただけるのは 決して一人だけじゃ来れなかった 誰かの支え 誰かのおかげ 全てが宝物」繰り返されるこのフレーズと、先輩方の輝く笑顔が、いま、鮮やかによみがえります。

We can make it. You can make it!

新たなる希望に向けて、果敢に前進してください。

皆さまのご健康と、より一層のご活躍を心からお祈りし、送る言葉とさせていただきます。

在校生代表 田中凌葵

答辞

厳しかった冬の寒さも和らぎ、柔らかな春の吐息を感じられるようなこの良き日に、私たちはそれぞれの未来へと新たな一歩を踏み出します。

まず初めに、私たち卒業生のためにこのような式を挙行していただき、心より感謝申し上げます。また、先生方をはじめ、ご来賓、ご家族の皆様、本日はご多忙の中ご臨席いただき誠にありがとうございます。

時間が経つのは早いもので、私たちの高校生活が幕を開けたのはもう三年も前のことです。新型コロナウイルスが猛威を振るう中、新たな仲間と出会い新たな生活の始まりに胸を躍らせたことは昨日のこのように思い出されます。

一年次は林間学校や体育祭など、中止となった行事も多くあり制限される日々の連続でした。マスクを外して友人と話すことは叶わず、自由にお喋りをして昼食をとることもままなりませんでしたが、そんな日々があったからこそ「当たり前の日常」の尊さを改めて感じられたのだと思います。

行事が開催され、みんなで楽しめることは当たり前ではありません。

お互いの顔を見て会話ができることも当たり前ではありません。

みんなで何気ない話をしながらご飯を食べられることも当たり前ではありません。

「新たな日常」というものに適応し、それを当たり前のものとするのは誰にとっても難しいことです。人間は順応していく生き物ですが、それは自分一人ではなく、周囲の人々と支えあい生きていくからではないでしょうか。先生方、家族、友人、たくさんの人の支えによって、私たちは日々を「日常」として過ごせるのだと改めて感じた一年でした。

二年次以降は徐々に制限も緩和され、規制などはありつつも中止になっていた行事が開催されるなど、思い描いていた高校生活がどんどん形になっていきました。新型コロナウイルスの影響がある中でも勉強合宿や修学旅行を開催していただいたことには、感謝をしてもしきれません。私たち

は中学三年生で休校期間を迎えたため、大多数は中学校の修学旅行に行くことが出来ませんでした。そのため、高校二年生での修学旅行は誇張なしに一生の思い出の一つです。

また、私たちにとって高校生活最後の年では、五月から九月へと延期にはなりましたが体育祭も開催されました。全学年が初めての体験であり、先生方も久しぶりの体育祭だったため、実際の開催までには様々な苦労があったことと思います。運営に関わってくださった皆様に、重ねて感謝申し上げます。

そして、体育祭を終え、文化祭を終え、私たちは本格的な受験期を迎えました。昨今の受験の方法は多岐にわたり、試験方法や合否のタイミングなども人によって大きく異なりますが、そんな異なる状況の私たちの中で、誰の助けも得ずに受験を終えた人はいないのではないのでしょうか。

先生方に文章の添削をしていただいたり、相談に乗っていただくこともあったでしょう。また、日々の生活や、大学のための準備や手続き、それらを支援してくれていたのは紛れもなくそれぞれの保護者の方々です。

「当たり前」はただそこに存在するものではなく、たくさんの人たちが互いに助けあい、支えられ、そして形作られているものなのです。私たちは、その「当たり前」について深く考えずに享受し胡座をかくのではなく、形作っている全ての人や物に対して感謝の念を抱き、そして言葉にするべきではないのでしょうか。これは年齢や立場などに関わらず、子供も大人も誰にでも当てはまることだと思います。

普段、「ありがとう」という言葉をきちんと声に出していますか。

先生方や親、そして友人など、周囲の人の気遣いを当たり前だと思っていないですか。

そしてなにより、いつも頑張っている自分自身に「ありがとう」と言えていますか。自分を愛しみ慈しむということは、決して疎かにしてはいけません。自分を大切にすることこそ、周りの人たちを大切にできるのだと思います。感謝の気持ちを言葉にして直接伝えることは恥ずかしいかもしれませんが、言葉にしなければ伝わらないことはたくさんあります。卒業式という人生の節目の一つだからこそ、どうか普段言えない想いを口にしてみてください。たった一言の「ありがとう」でも、きっと想いは伝わります。

今日という日は私たちの旅立ちの日であり、そして新たな未来への一歩目でもあります。これからも私たちは、自分自身の道をただひたすらに駆けていくことでしょう。どこまで続くのか、どこまで駆けていけるのか、先のことは誰にもわかりません。その道の途中である高校という場所で出会えた先生方、後輩や同級生、そして私の道を切り拓き、また共に歩いてきてくれた家族。共に過ごしてくれた全ての方々に、最大限の感謝の言葉を送ります。支えてくれて、一緒に歩いてくれて、見守ってくれて、本当に、ありがとうございます。

最後に、松蔭学園の更なるご発展をお祈り申し上げますと共に、校長先生をはじめ、先生方、保護者の方々、私たちを支えてくれた全ての人に感謝を込めて、答辞とさせていただきます。

卒業生代表 藏谷 野乃香

松蔭幼稚園実習を終えて



3年生の幼児教育・保育系進路決定者は、本校附属幼稚園で実習を行いました。

私は8日間の実習をさせていただきました。毎回違うクラスに行きました。様々な学年・クラスの子供たちと触れ合い、遊ぶことができ、とても楽しかったです。絵本や紙芝居の読み聞かせも体験し、その難しさを痛感しました。しかし、何度も読み聞かせをしていく中で、園児の興味を引くような抑揚やスピードが少しずつ分かるようになりました。実際の幼稚園という現場で園児と関わりながら、今後の自分の課題と、学びたい事を明確にできた貴重な体験となりました。このような機会を頂けて本当にありがとうございました。(A・I)

非常に多くの事を学べて、とても良い経験になりました。園児同士が喧嘩した時や外遊びの最中に園児が泣き出した時など、緊張した場面がありました。しかし、先生方のご指導のおかげで、園児と遊ぶ際の注意点や喧嘩した際の対応方法など、様々な事を学びました。最初は園児たちとのコミュニケーションや外遊びに疲労困憊でしたが、最終的には一緒に遊ぶ時にも園児を見守る事を心がけられるようになったと思います。幼稚園教諭の仕事の厳しさと楽しさを知ることができました。ありがとうございました。(H・O)

紙芝居の授業を終えて



3年生の進路決定者は、国語科の授業として、紙芝居を一から作成し、松蔭幼稚園生への読み聞かせを行いました。その感想の一部を抜粋し掲載いたします。

本番の発表はとても緊張しましたが、なによりも園児がとても可愛く、紙芝居をめくるごとに「えー!」「かっこいい!」などたくさんの反応をして笑顔になってくれたのでとても嬉しかったです。紙芝居を一から作ることは大変でしたが、園児の皆が喜んでくれたり、楽しんでいる姿を見ると頑張って作ってよかったなと思いました。

十枚程度の紙芝居の中に、いかに分かりやすくストーリーを伝え、園児楽しませるかを意識して制作しました。紙芝居の絵はなるべく大きく、目立つ色を心がけました。また、内容の中に「にんじん」を抜くときのかけ声を言う箇所を作ったりと、年少から年長のどの学年の子たちでも盛り上がるような工夫を入れました。本番も園児が大きなかかけ声や興味を示してくれて、私自身も楽しく読むことができました。

紙芝居を作るにあたって苦労したことは、文章やセリフを考えることです。普段使う言葉が園児に伝わるのか、少しオーバーな表現で驚きや喜びを表さなければならないことが難しかったです。高校生活の中で、幼稚園に直接行って、自分たちが一から作った紙芝居を読み聞かせるという経験は、学園内に幼稚園がある松蔭ならではのことだと思います。とても良い経験になりました。

体の仕組みについて、冒険しながら伝えていくストーリーにしたが、年長さんのクラスの子たちが「胃」や「腸」などを知っていて驚きました。一人の子が「体の図鑑持ってる!」と大きな声で反応してくれて、自分も幼い頃図鑑を見るのが好きだったなど懐かしく思えました。年少から年長までのすべての園児が元気よく挨拶してくれたり、楽しく反応しながらも真剣に聞いてくれてとても嬉しかったです。

園児たちの伝わりやすい言葉やストーリーを考えていくのはとても大変でした。話が展開していくうえで、どのシーンの絵を描いて表現すればいいのか、どのセリフを誰に言わせたほうがいいのか考えることがたくさんあり、今回の授業を通して、絵本や紙芝居というもの、ものすごく考えて作られているのだなと改めて感じました。また、本番園児の笑顔や反応はものすごく可愛かったのですが発表を一回するごとに自分の体力がどんどん削られていくような疲労感がありました。幼稚園の先生方のすごさを身に染みて感じました。



校内スピーチコンテスト結果発表!



3月14日(木)講堂にて校内英語スピーチコンテストが行われました。

参加者は10月の下旬からスピーチ題材を探し、原稿を作り、暗記や発表の準備に努力を重ねてきました。途中、考査や部活との同時進行はとても大変だったと思います。また、発表の当日は極度の緊張に、立っているのもやっとという状態でしたが、一生懸命発表した姿は尊敬に値します。お疲れさまでした。

参加者のタイトルと名前、入賞者、アンケート結果は下記の通りです。ご協力いただきました先生方、生徒の皆さん、本当にありがとうございました!

出場者 List	司会：2年 納谷 拓実
1 I love K-pop!!!	2年 南出 凜
2 Be careful how you use social networking sites !	1年 神村 織羽
3 Children's Independence	1年 甲斐 日菜子
4 Anime; A world-class culture	2年 古賀 優子
5 What is Swimming?	1年 鈴木 衛人
6 Ballet is fascinating!	2年 風巻 真優
7 Never give up, starting from zero	1年 谷中 建之介

スピーチコンテスト入賞者



第1位 2年 風巻 真優

第2位 1年 甲斐 日菜子

第3位 2年 古賀 優子



※ スピーチコンテスト終了後、聴いてくれた生徒の皆さんにアンケートをとりました。

○興味を持てた題材は？

第1位	Never give up, starting from zero
第2位	Ballet is fascinating!
第3位	I love K-pop!!! Be careful how you use social networking sites !

○見て（聴いて）よかったのは？

第1位	Never give up, starting from zero
第2位	Ballet is fascinating!
第3位	Be careful how you use social networking sites ! What is Swimming?

※ コンテストの最後に、長年本校で英会話を教えてくださっていたキーリ先生に、感謝の気持ちを込めて花束の贈呈を行いました。



Thank you so much for all that you have taught us !



探究学習発表会



7月から準備を進めてきた探究学習の発表会を3月16日に行いました。1年生はグループで「SDGSの達成に近づくプロジェクトを提案する」を課題にし、ポスター展示でプレゼンテーションしました。2年生は各班が決めた自由テーマを、パワーポイントを用いたプレゼンテーションで発表しました。当日は「A信頼性」「B社会貢献性」「C独創性」「Dプレゼンテーションの完成度」の4項目を評価し投票しました。

探究学習発表会結果

【2年の部】

優勝 タイトル「松蔭的推し活調査」 準優勝 タイトル「ねむいまで」

【1年の部】

優勝 タイトル「ボラポイ」 準優勝 タイトル「ルンバチ子のすすめ」